

# 社会科学習指導案

3年1組 30名 指導者 小川 誠

本授業では、以下の検証を行うものである。

社会科における「見方・考え方」の視点を取り入れた追究の柱に沿って、調べてまとめる活動を通して作り上げた基本的知識を関連付けることは、中心概念に迫る手立てとして有効であったか。

## 1 小単元 学校のまわり (大単元 1 わたしたちのまち みんなのまち)

### 2 目 標

学校のまわりの様子を観察し、地形や土地利用の様子、交通の様子について調べ、調べたことを絵地図や平面地図に表して、学校の周りの様子は場所によって違うことを具体的に考えることができるようにする。

### 3 評価規準

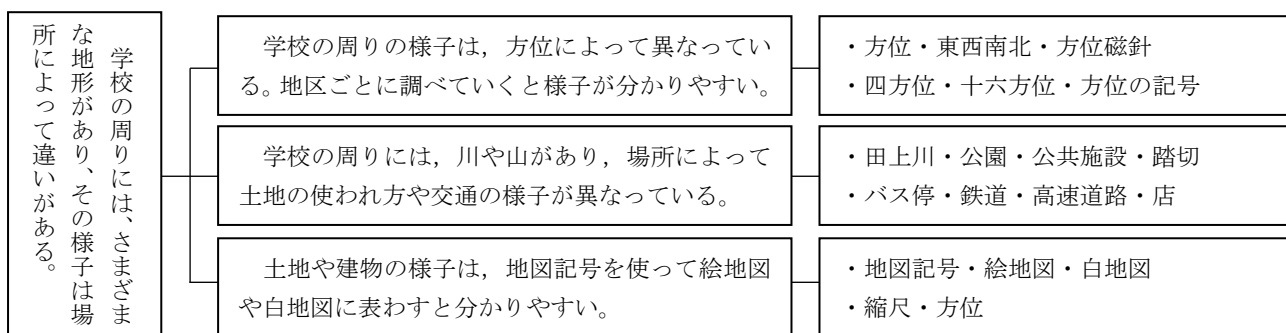
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校の周りの様子について必要な情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめることができる。また、学校の周りの様子は、場所によって違いがあることやそれぞれの場所の特徴やよさを理解することができる。	学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。	学校の周りの様子に関心を持ち、地形や土地利用の様子、交通の様子等について意欲的に調べることを通して、身近な地域の特色やよさを考えようとしている。

## 4 小単元の構造について (概念構造図) ※ ○数字は時数

(中心概念)

(基本的事項)

(基礎的事項)



## 5 小単元について

### (1) 小単元について

本小単元は、学習指導要領の第3学年の目標(2)及び(3)の一部を達成することをねらいとして設定した。子供にとって一番身近な地域である学校の周りについて調べることで、地形等の地理的な条件や多くの人々が住む町等の社会的な条件により異なっていることが分かるようにすることをねらいとする。また、それらの様子については、見学や聞き取り調査を行い、それを絵地図や平面地図に表現する活動を通して、具体的に考えることもねらいとする。

そこで、同じ校区ではあっても、場所によって違いがあることをより具体的に考えることができるようにするために、地形や土地利用の様子、公共施設、交通の様子、古くから残る建造物等を取り上げていくことにする。本校が位置する地域は、田上川(新川)の両岸に広がる町である。学校の東と南には、それぞれ商店街があり、それらの近くは交通量が多く、自家用車やバスが通っている。また、学校の近くには鹿児島本線(JR九州)や九州自動車道等が通るなど、交通の要所となっている。これらのことを関連付けながら指導していくことで、学校の周りの具体的な様子から、その特色にも気付くことができると考える。

さらに、調べたことをまとめる際に絵地図や平面地図で表現させるが、地図記号について取り扱うことにする。学習した地図記号を用いて平面地図を作成させることで、地図記号の良さに気付かせることができる。

このような学習を行うことで、子供に今まで気付かなかった身近な地域における社会的な事象に目を向けさせるきっかけを与え、地域社会に対する誇りや愛情を育てることにつながると思う。

(2) 子供について

本学級の子供は、3年生になって初めて社会科の学習が始まったこともあり、社会科の学習への関心が高く、授業に意欲的に取り組む姿が見られる。生活をしている校区や学校の周りについて、改めて言葉や図で整理してみると、これまで気付かなかったことに興味をもち、更に意欲的に学習に臨もうとする姿も見られる。また、ペアやグループ学習では、自分の考えを相手が分かりやすく伝えようとする工夫を行い、相手の考えを自分の考えに取り入れようとする姿も見られている。

(3) 指導について

本小単元では、ジグソー学習を取り入れ、グループ活動を主体に学習を進めることにする。生活グループを基本として行うが、追究の柱ごとのグループ編制を取り入れることで、調べたことをまとめる段階において、他のメンバーとよりよい方法を検討しながら、それぞれの学習のまとめを比較することができるように、似た方法でまとめることができるようにしたいと考える。

また、本小単元の中では、絵地図や平面地図でまとめる活動を設定するが、その際に地図記号を使う良さを感じさせていきたいと考える。地域ごとのグループの地図をつなぎ合わせることにより、校区全体をつかむことができるように、子供のワークシートを工夫していきたいと考える。

6 指導計画 (総時数 1 2 時間) ○重点化する「全ての学習の基盤となる資質・能力」

過程	主な学習活動【評価規準】	時間	基盤となる資質・能力					
			言	情	問	実	協	振
つかむ・見通す	1 日常生活や通学の経験から学校の周りの様子について、わからないことや疑問に思うことを話し合い、学習問題をつくる。 <b>田上小学校のまわりは、どのようになっているのだろう。</b> 【態：地域の様子を想起し、意欲的に学習計画を立てようとする。】	1			○			
	2 学習問題の予想を立て、学習計画（追究の柱）を立てる。 ○ 地形の様子 ○ 土地利用の様子 ○ 公共施設の場所 ○ 交通の様子 ○ 古くから残る建造物	1					○	○
調べる	3 追究の柱について、個人やグループで調べ、全体で話し合う。 (1) 調べたい地域ごとにグループをつくり、5つの追究の柱について調べていく。 ○ 屋上から各地域を見て、学校の周りの様子を調べる。 ○ 各地域の校区探検を行い、学校の周りの様子を調べる。	4	○		○			
	(2) 調べてわかったことを絵地図にまとめる。	2		○				
	(3) 地図記号について知り、調べてわかったことを地図記号を用いて平面地図にまとめる。	2		○				
	(4) 追究の柱グループで、各自で調べた地域の様子について、各地域を比較し、共通点や相違点を話し合う。 【思：学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等に関連付けて考え、考えたことを表現している。】 【技：学校の周りの様子について情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や平面地図にまとめている。】	1	○			○		
まとめる・生かす	4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。 【知：学校の周りの様子は場所によって違いがあることや、それぞれの場所の特徴やよさを理解している。】 <b>学校の横を田上川が流れ、田上川のまわりに家が集まっている。また、大きな道路やバス通り沿いには、家やお店が多い。</b>	1 本時			○		○	
	5 鹿児島市の様子はどのようになっているのか、これまでの学習を生かし予想する。	1				○		○

7 本 時 ( 1 1 / 1 2 )

(1) 目 標

これまでに調べた地域における地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付け、各地域の様子を比較し、共通点や相違点に気づき、学校の周りの特徴やよさを考えることができるようにする。

(2) 評価規準

各地域の様子について、調べてまとめたことを比較し、共通点や相違点を導き出しながら、学校の周りの特徴やよさについて理解することができる。 【知識・技能】

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

本時の学習において、追究の柱に沿って調べて分かったことを振り返りながら、地域における特色について追究の柱を相互に関連付けることで、中心概念に迫ることができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

追究の柱グループごとにまとめたことを地域グループごとに関連付けるジグソー法に取り組むことで、追究の柱相互を関連付け、地域の特色やその根拠を明確にしながらかつまとめることができるようにする。

ウ 深い学びの視点

小単元の学習問題や追究の柱に社会科における「見方・考え方」の視点を取り入れ、本時のめあてや学習の流れを確認することで、これまでの学習と関連付けながら、地域の特色や相互の関連、意味を多角的に考察することができるようにする。

(4) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	1 前時までの振り返りをする。 ・ 追究の柱グループごとに、校区全体の様子をまとめたね。 ・ 地域によってそれぞれ違いがありそうだね。 2 めあてや学習の流れを確認する。 田上小学校のまわりは、どのようになっているのだろうか。	○ 前時の学習について振り返り、本時の学習の目的を明確に捉えることができるようにする。 ○ 学習計画に沿って、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。 ○ 追究の柱グループでまとめた地図を並べて提示し、本時の学習の進め方をつかむことができるようにする。
調べる	30	3 地域グループごとに、調べてまとめたことを関連付け、特色をまとめる。 ・ 地形の様子によって、土地の使われ方に違いがあるね。 ・ 地形の様子によって、公共施設や交通の様子等に違いがあるね。 4 地域グループごとに分かったことを発表し、校区地図を完成させる。 ・ 全ての地域の地図をつなぐと、校区全体の様子が見えてくるね。 ・ 地域による違いの根拠は、地形の様子に理由がありそうだね。	㊦ 追究の柱グループでまとめたことを地域グループで関連付けることで、地域の特色やその根拠を明確にもつことができるようにする。 ㊧ 地域グループの発表を比較することで、校区全体の様子をつかみ、まとめることができるようにする。 ○ 地域グループでまとめた地図をつないで校区全体の様子をまとめた地図を完成させ、校区全体の様子をまとめることができるようにする。
まとめる・生かす	10	5 発表をもとに地域を比較し、校区全体の様子をまとめる。 田上小学校の校区は、地形の様子に特色がある。また、地形の様子によって、土地の使われ方など違う。 6 校区の特色から鹿児島市の特色へと興味をもたせ、次時への意欲を高める。	※ まとめたことを関連付けながら、地域の特色を考え、校区全体の様子について考えをもつことができる。 (学習計画表) 【知識・理解】 ○ 校区の学習から、他地域や鹿児島市の特色へと関心をもたせることで、次時及び次小単元の学習への意欲を高めることができるようにする。

